


申込の流れ

保育所・幼稚園・認定こども園 等



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

申込が希望日の直前となる場合、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

訪問申込書



乳幼セWebページから取得できます。

R7より様式を変更しております。

①申込・送付

園所名、連絡先、希望日時、内容等をお知らせください。
電話申込後、内容等確認のため訪問申込書をメールにてご送付ください。
※鑑は不要です。
※講義を希望される場合は、希望日の1か月前までにご連絡ください。
☎083-933-4450 →

②調整・送付

アドバイザー等と日程を調整し日時が決定したら、訪問決定書類を送付いたします。
※内容によって、アドバイザー等と直接打合せしていただく場合がございます。

アドバイザー等決定までに数日お時間をいただきます。

③訪問

※乳幼セの指導主事等が同行させていただく場合がございます。

④アンケート送付

今後の訪問支援の充実の為、アンケートにご協力ください。

回答方法

- ・Microsoftフォーム
- ・メール
- ・Fax

アンケートはフォームからでも回答できます！



アンケートフォーム

Q&Aよくあるご質問

訪問できる日を教えてください。

今年度は、令和7年4月9日～令和8年3月13日までの原則平日9時から17時です(その他、ご希望がございましたらご相談ください)。

2回目以降の申込方法を教えてください。

継続した訪問の場合、お電話で申し込めば申込書の提出は必要ありません。年度や内容等が変わった場合には再度申込書の提出をお願いします。

費用がかかりますか？

アドバイザーの旅費等の費用は県が負担します。園が負担する必要はありません。

準備するものがありますか？

指導案等は必要ありません。訪問当日、保育の流れや子どもの様子をお聞きすることがあります。講義形式の場合、パソコン、プロジェクター、スクリーンを使用する場合があります。(園に無い場合は乳幼セが持参いたします)。

園の全職員が講義や協議に参加したいけれど、一度に受けられません。

日にちや時間を変えて同じ内容を行うことで、全員が参加できます。

興味はあるけれど、どんな内容にするか、どう進めたらよいかわかりません。

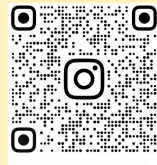
内容のご相談も受け付けております。下記まで気軽にご連絡ください！



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター
〒753-8501 山口市滝町1-1 (県庁15階)

☎ a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

☎ 083-933-4450 ☎ 083-933-4456

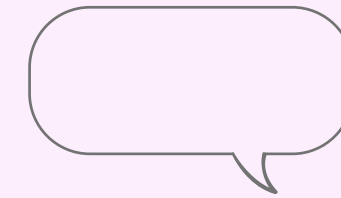


NYUU.YOUSE4450

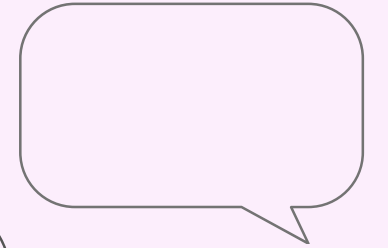
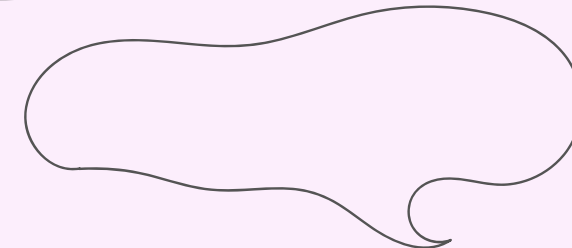
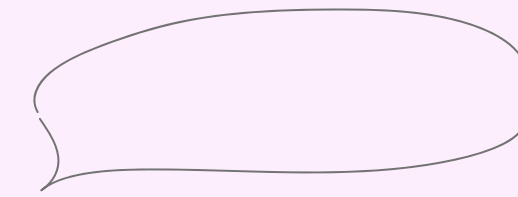
山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

令和7年度

アドバイザー訪問の手引き



保育現場におけるいろいろな悩みや思い…
そうだ、アドバイザーに聞いてみよう！



山口県乳幼児の育ちと学び支援センターって？

乳幼児期の教育及び保育が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、その更なる質の向上を図るため、国公立・私立や施設類型の区別なく、乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点として山口県庁15階に設置されました。

アドバイザー訪問ってなに？

乳幼児期の教育及び保育、福祉に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する「幼児教育アドバイザー」「専門分野に係る幼児教育アドバイザー」が、保育所・幼稚園・認定こども園等からの要請に応じて、訪問支援等を行います。

保幼小連携に関することなら小学校にも訪問できます！

どうやって申し込むの？

乳幼セまでお気軽にお電話ください！
083-933-4450

幼児教育 アドバイザー（AD）

乳幼児期の教育及び保育に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する者です。保育所や幼稚園、認定こども園の施設長等、現場経験豊富なアドバイザーや、小学校、特別支援学校や保育者養成校での勤務経験、臨床心理士の資格を持っているアドバイザー等がいます。



おおもり ようこ
大森 洋子

国立幼稚園に長く勤務し、主体性を大切にする保育を追求してきました。親も子ども先生も「その人らしく輝く」が目標です。



ささき かずみ
佐々木 和美

長年の現場経験を活かし、現在は大学で講義を行っています。保育者の知識技能を活かす実践力について一緒に考えましょう。



てらだ ひろえ
寺田 弘枝

保育現場を約30年経験し、現在は保護者や職員のサポートをしています。皆が輝けるようなサポートを大切にしています。



にしかわ まりこ
西川 麻里子【特別支援】

小学校在職時は、支援の必要な子どもに関わっていました。配慮の必要な子どもへの対応について一緒に考えましょう。



はやし かずこ
林 和子

公立園長等を経て、吉敷愛児園保育・幼児教育アドバイザーとして勤務。子ども・保護者支援を共に考えていきたいと思います。



もりみつ めぐみ
盛満 恵

週3日常勤のアドバイザーです。園訪問等で皆さんの意欲に励まされています。プラスに向かう対話を大切にしています！



こんどう きみ
近藤 公【特別支援】

特別支援学校や小学校での勤務経験を活かして、特別な配慮を必要とする子どもの保育に関する助言ができます。



たなか こうじ
田中 浩二

保育現場と保育者養成の両面に携わっています。保育のあり方や保育現場で求められることについて一緒に考えましょう。



ながやす やすのり
長安 康憲【特別支援】

公立学校在職時には、様々な相談支援の場を経験しました。子どもたちの笑顔のため、お役に立てたらと思います。



にしやま しのぶ
西山 忍

保育園園長です。子ども達が、職員が、保護者がいきいきワクワクするにはどうすればよいか、一緒に考えていきたいと思います。



はやし ちえこ
林 智恵子

公立幼稚園、行政、現在は幼児ことばの教室に勤務しています。“みる・きく・一緒に考える”を大切にしています。



よしだ よしこ
吉田 佳子

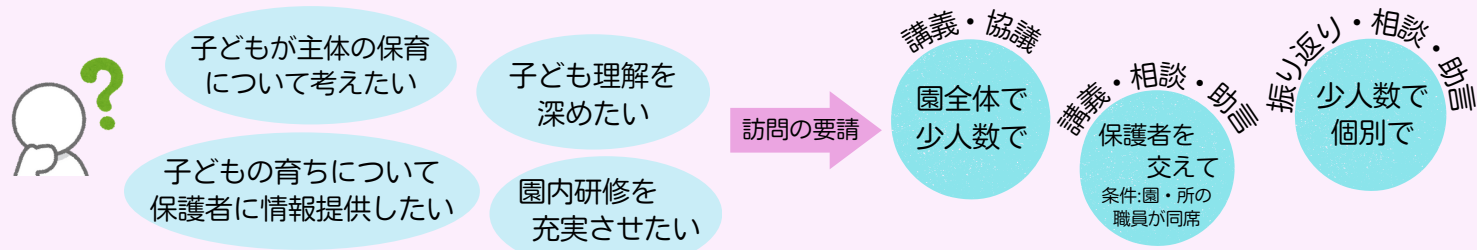
園長8年目です。遊びの中にある子ども達の学びと成長を大切に、探究する心や国際的な視野を育む事を大切にしています。

専門分野に係る 幼児教育アドバイザー（専門AD）

乳幼児期の教育及び保育に関する、専門的な知見を有する者です。園内研修や研修会の講師として、講義・演習がメインのアドバイザーです。



研修内容	分野名	名前	講義内容例
食育・アレルギー対応	食育	塩田 博子	○食育の進め方 ○子どもの食生活
		水津 久美子	○食物アレルギー対応
特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援	言語聴覚療法	中津 愛子	○子どもの言葉を育てる ○子どもの難聴 ○言葉の発達が気になる子どもへの関わり方
	行動支援	宮木 秀雄	○ポジティブ行動支援 ○子どもの問題行動への対応 ○発達障害のある子どもへの支援
	作業療法	濱本 尊博	○子どもの運動機能 ○生活動作の獲得 ○発達特性のある子どもへの支援 ○感覚統合を促す遊び
	障害のある子どもと家族支援	藤田 久美	○障害のある子どもの保育とクラス運営の方法 ○発達の気になる子どもの理解と家族支援
	多文化共生	當房 詠子	○外国にルーツがある子どもの理解 ○多国籍家庭への支援
保健衛生	小児看護	家入 裕子	○感染症予防 ○手洗い指導
		小迫 幸恵	○病気への対応 ○応急手当
災害時の判断と行動	防災	坂本 京子	○近年の気象災害と防災情報の活用 ○園での防災対策と防災訓練のあり方
保護者支援・子育て支援	保護者・家庭支援	竹下 徹	○保護者に寄り添う支援 ○保育ソーシャルワーク ○保護者や家庭支援の方法
乳幼児保育・幼児教育	ICT活用	高下 正明	○保育での効果的なICT機器の活用
	子どもと環境	重村 美帆	○乳幼児期の環境 ○乳幼児期の発達 ○乳幼児期の遊びの見取り
	子どもと健康	青山 翔	○乳幼児期の体力・運動発達の特徴 ○明日から使える運動遊び
	乳幼児心理	大田 紀子	○子どものあそびと心理発達 ○子どもの想像力やファンタジー
	表現(音楽)	永田 実穂	○子どものリズム・楽器あそび ○子どもの音楽表現
	表現(造形)	森下 嘉昭	○子どもの造形あそび ○子どもの制作
	保幼小連携・地域連携	川崎 徳子 佐伯 公夫 中邑 至道	○カリキュラム作成についての助言 ○保幼小連携体制の構築 ○地域との連携



訪問内容例	
保育参観	子どもの育ちについて保護者に情報提供したい
講義	子ども理解を深めたい
	園内研修を充実させたい

	講義協議	演習	保育参観	保護者への助言
AD	○	○	○	○
SSW	○	○	○	○
専門AD	○	○		

幼児教育アドバイザーとSSWと一緒に訪問し、手立てを考えることもできます！



SSW訪問の手引きはこちら

指導案を書いたり、特別に環境を整えたりする必要はありません！日頃の保育や子どもの様子を見せてください。

訪問例①保育参観

- 9:30 打合せ
- 9:40 保育参観
- 10:20 振り返り
- 11:30 終了

訪問例②講義

- 13:30 講義
- 14:30 質疑応答
- 15:00 終了

※訪問が1日に渡る場合は、アドバイザー等が持参した食事を摂れるスペースをお願いします。

<R6 訪問園アンケートより>

ねらいが達成できた

当てはまる 85%

役に立つ内容であった

当てはまる 93%

○具体的な子どもへの関わり方を事例を挙げながら示していただき、大変わかりやすく、参考になった。
○グループワークや対話を通して、職員同士が一人ひとりお互いの考えを知る良い機会となった。
○園・所・小学校がお互いに、遊びや学びのつながりをの姿もと意識していく大切さを改めて実感することができた。

年間を通して訪問依頼をいただいている園・所もあります！

訪問は基本的に平日の9:00~17:00の間です。休日は要相談です。